

Friedemann Vogel

フリーデマン・フォーゲル

バレエダンサー (ドイツ / シュトゥットガルト・バレエ・プリンシパル、^{カンマーテンツァー} 宮廷舞踊家)

「芯のぶれない世界のスター」と称され、2019年、ドイツのダンス専門誌「タンツ (Tanz)」により「ダンサー・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた。本賞の受賞は2010年に続き2度目。2020年には、長きにわたる輝かしい国際的活動に対してドイツダンス賞 (Deutscher Tanzpreis) を受賞した。

長編ドキュメンタリーのタイトル『フリーデマン・フォーゲル—ダンスの化身 (邦題: フリーデマン・フォーゲル—ダンスに生きる / 独題: FRIEDEMANN VOGEL—Verkörperung des Tanzes / 英題: Friedemann Vogel—Incarnation of Dance)』は、物心ついたころからダンスの道を歩んだフォーゲルにふさわしい。多くの賞を受賞し、20年にわたってスカラ座やボリショイ劇場、東京の世界バレエフェスティバルなど、世界中で評論家と観客を魅了し続けている。ドラマティック・バレエでは深い感動を与え、コンテンポラリーでは刺激的なパフォーマンスを展開するとして高く評価されている。ドイツ国内で最上位のダンサーに与えられる称号「^{カンマーテンツァー} 宮廷舞踊家 (Kammertänzer)」を持つ。

*フリーデマン・フォーゲルの詳細は以下オフィシャルサイトをご覧ください

friedemannvogel.com